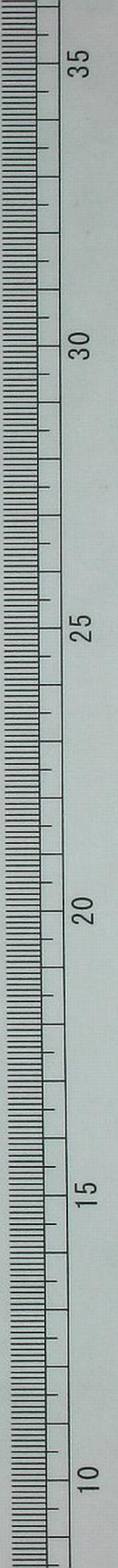


新編 世界圖説  
水

柳田文庫  
文庫11  
A1835  
6

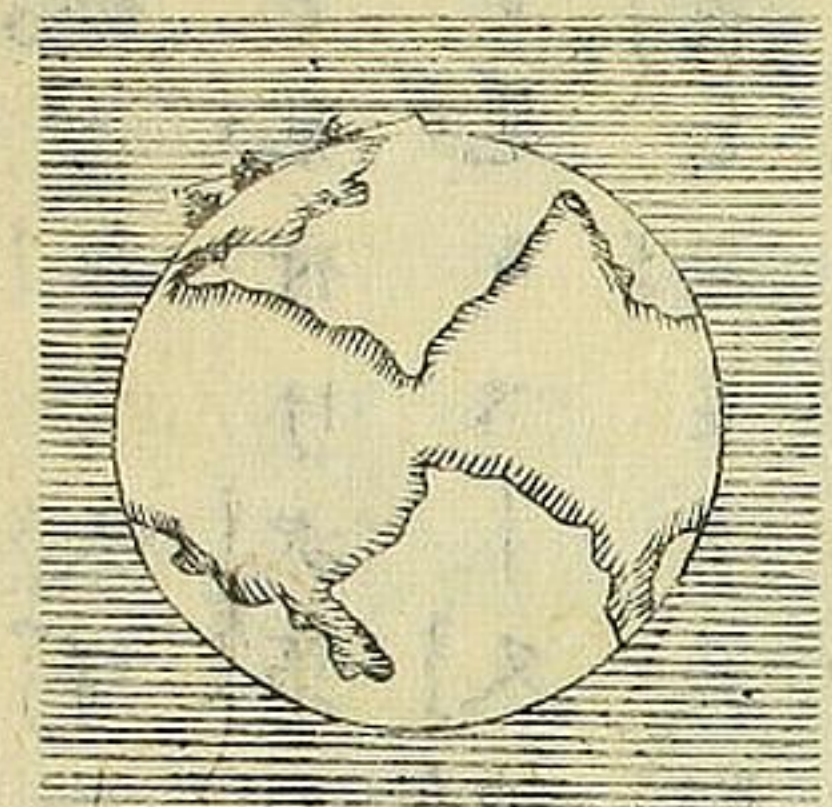








此世界も一個の遊星あり 遊星とハ圓き物にて  
 空中に浮び日輪の周圍を廻りて日の温氣と光と  
 を受ける星あり此日輪に附屬の  
 遊星數多し是れども大にハ其の  
 のハ唯ハ一個の地球即ち地球も其  
 内の一あり地球の圓き證據ハ  
 此世界も一個の遊星あり 遊星とハ圓き物にて  
 空中に浮び日輪の周圍を廻りて日の温氣と光と  
 を受ける星あり此日輪に附屬の  
 遊星數多し是れども大にハ其の  
 のハ唯ハ一個の地球即ち地球も其  
 内の一あり地球の圓き證據ハ



人種言語の品類風俗政体の異同文學技藝の巧  
 拙文明開化の前後等を論ず

天文の地學

此世界も一個の遊星あり 遊星とハ圓き物にて  
 空中に浮び日輪の周圍を廻りて日の温氣と光と  
 を受ける星あり此日輪に附屬の  
 遊星數多し是れども大にハ其の  
 のハ唯ハ一個の地球即ち地球も其  
 内の一あり地球の圓き證據ハ

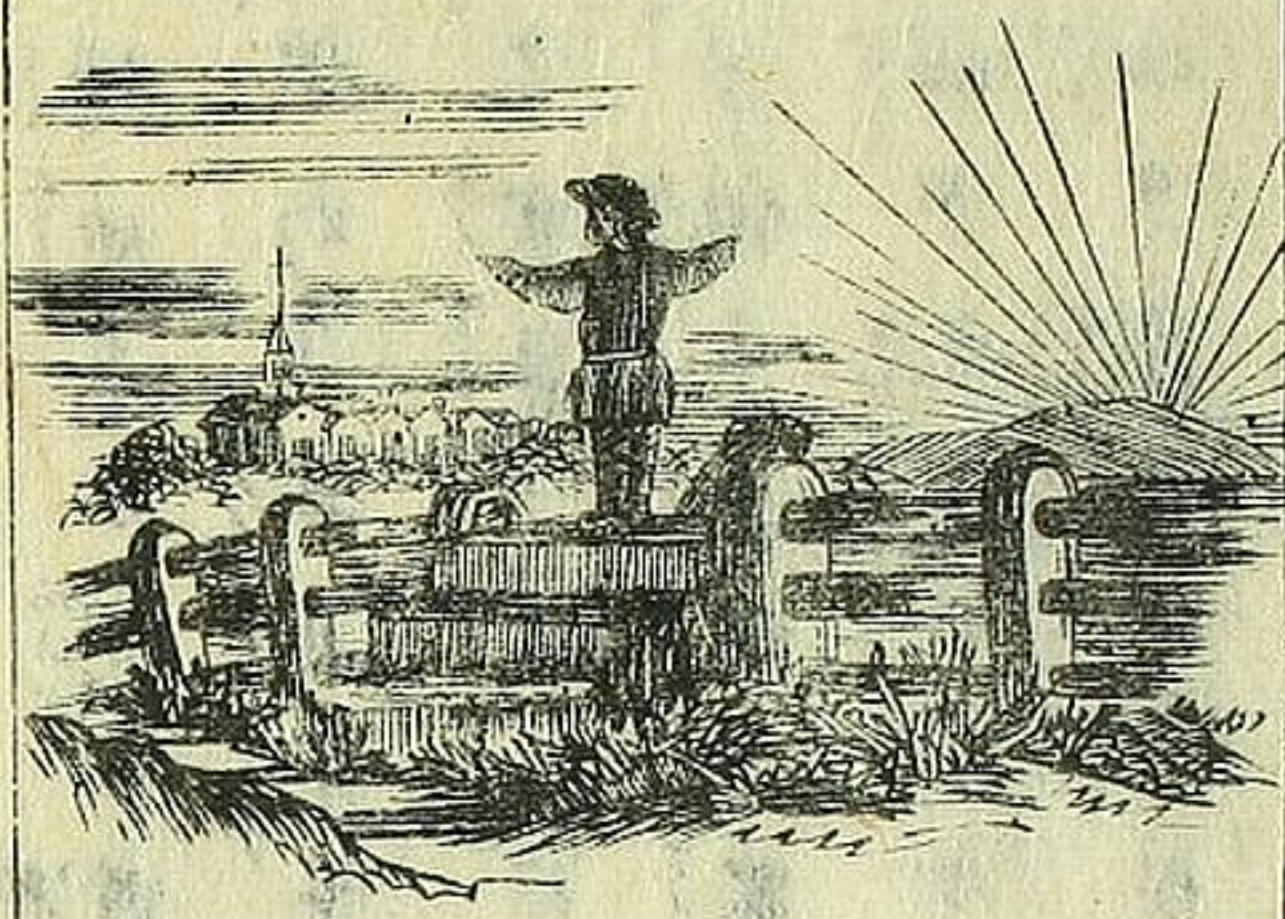


船に乗て大洋を陸を眺るは始ハ山の頂の  
 を見付け次第に陸へ近づくは從ひ麓の低き處  
 も見るべし又地球の影の月を映むるときは月  
 食を起すその影はあらむ圓一影圓すは其物  
 も圓きこと知るを  
 地球の周圍を一萬三百五十五里余り南北を  
 軸にして西より東へ轉び十二時の間は一廻を  
 終ることを一昼夜とす即ち地球の自轉あり斯  
 く自から轉かから三百六十五日二分五厘の間

小日輪の周圍を一廻して本の處に歸るとを  
 一年とす即ち地球の公轉あり斯く日輪の周圍  
 を轉廻する間ハ或ハ二日小近づき或ハ二日小  
 遠ざかり且其光を真直に受ると斜に受るとハ  
 由て寒暑一様あらむ四季の變化こそがたれハ  
 生ず但し赤道を界して四時相反し日本は  
 の如き赤道以北の國の夏ハ日よまたらをや等  
 の如き赤道以南の國の冬あり本文南亞米利加  
 の篇ハ池鯉の國の冬ハ我夏ありと記したる



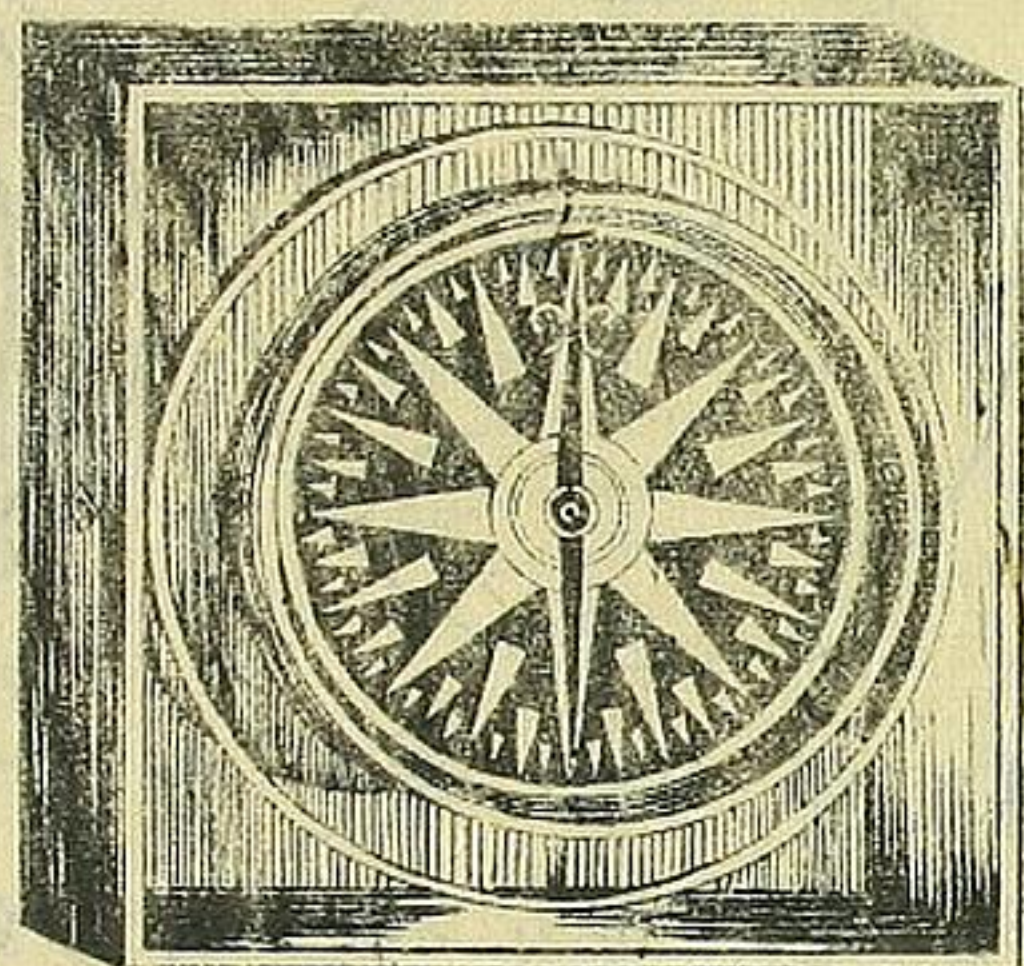
此國ハ赤道の南に在るゆへ夏冬相交互るあり



方ハ南ありこの四方角を羅針盤の本点と名  
く羅針盤ハ航海に欠くべからざる道具也唯

四方ハ東西南北を上の繪  
ハ一人の子供両手をひろげ  
右の手にて日の出る方を指  
左の手ハ日  
この方東あり左の手ハ日  
の入る方を指すこの方西か  
る面の向ふ方ハ北にして背の

羅針盤の圖

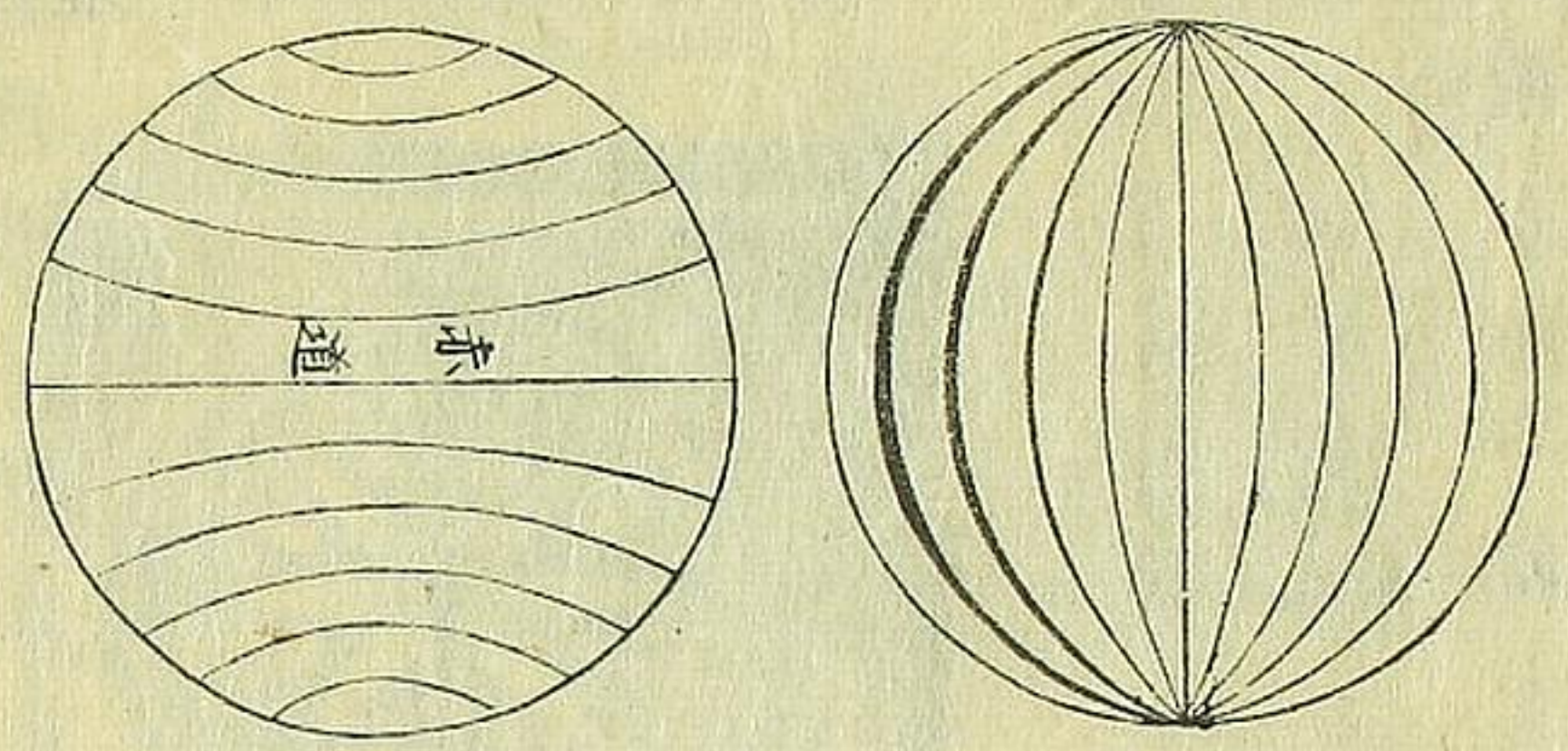


地球の面へ縦横の線を引き南北に通る線を子  
午線と名け東西に通る線を平行線といふ地球  
の状圓きゆへ斯く縦横の引通したる線の状も

四方のまを東西南  
北の間を分ち又其  
間を小分して細小  
きを盤面に記しその  
方角に従て船の道筋  
を定るものあり



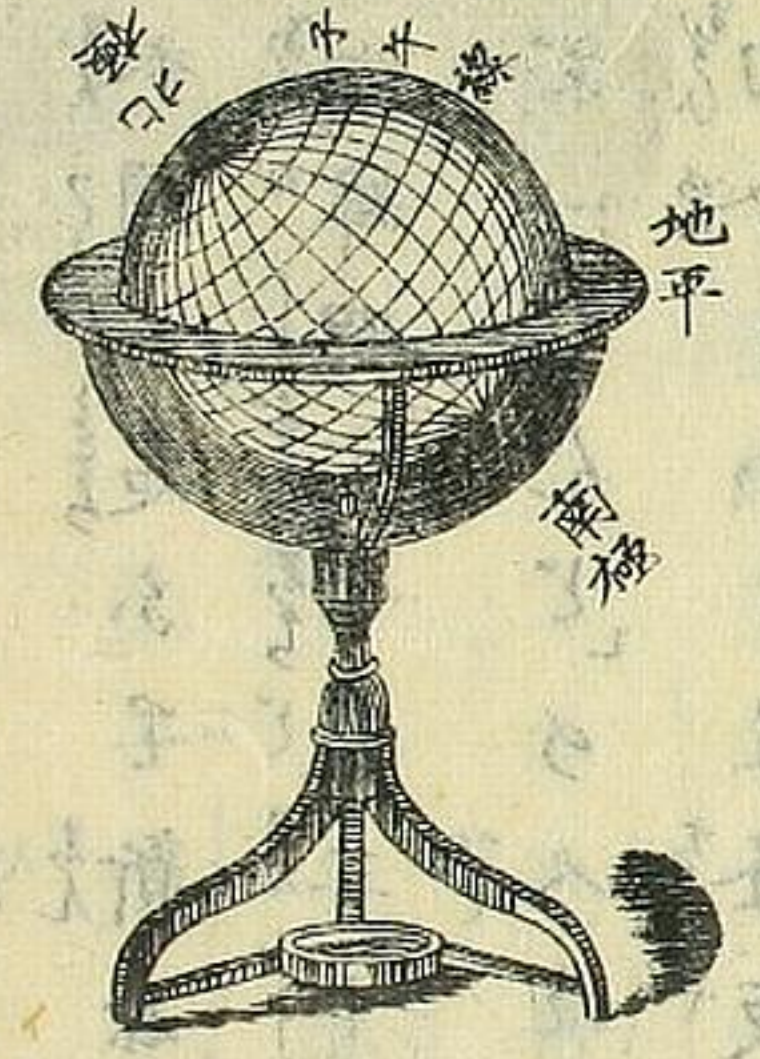
子午線 平行線



圓くして輪の如くこの圓き  
 輪を三百六十に分てこきを  
 一度と名け東西に刻とる  
 を經度といひ南北に刻とる  
 を緯度といひ平行線を以て  
 南北の緯度を計るハ真中  
 の赤道を本として勘定を始  
 む譬へバ地理の圖書中北  
 緯三十五度といへバ赤道よ

北の方三十五度不當といふこと  
 又ハ亞米利加の北を以て日本  
 緯の方にも同じ子午線ハ何もの地より始  
 るも勝手次第かども大抵地理書ハ英吉利  
 天文臺の

地球儀ハ  
 經度緯度  
 を刻とる

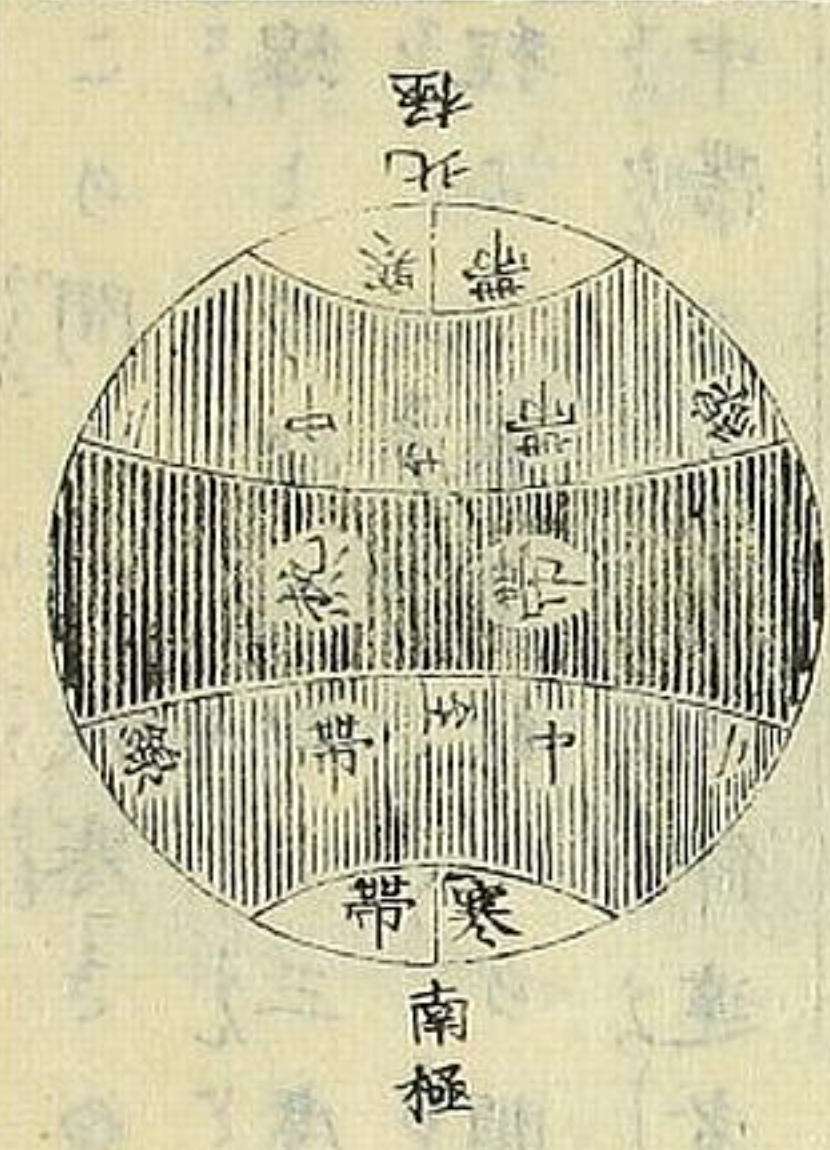


天文臺の  
 緯度緯度  
 經百四十度とい



文臺よ東の方百四十度不當るといふこと  
て丁度日本國の處を新おいらんどハ東經百  
七十七度南緯四十七度三十分不當を故本  
篇も新おいらんどの人と英吉利の人と、足  
のうらを向合せおいて昼夜相反するとのこと  
を記せ

地球の周圍ハ其の里法おて二萬五千里  
本の里数おまをバ一萬三百五十里余あり故  
こをを三百六十割たる一度ハ二十八里七合

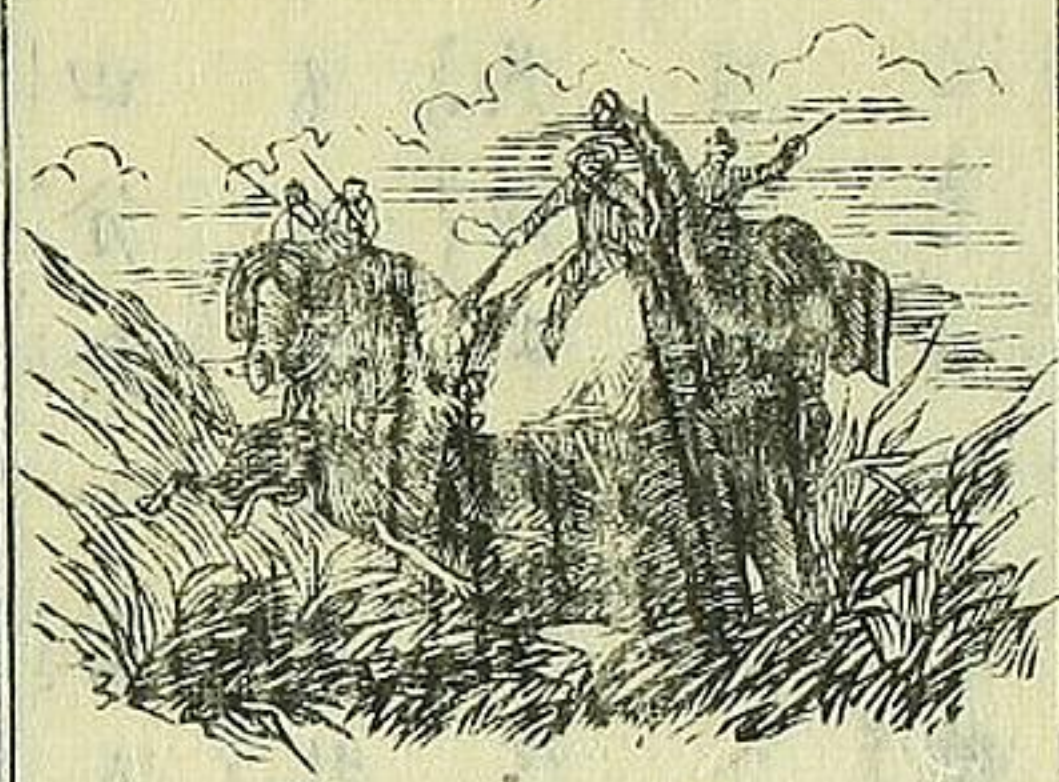


六分四分余不當る但こハ赤道の處おて測  
るもいおて南北の方お近よをバ次第は短く  
あり其極よ至まバ何もふくなり理あり  
赤道より北と南へ二十三度半づりの處お線を  
引きこをを二至線と名けこの間ハ時侯熱一故

お熱帯と名く又南北の極  
りを赤道の方へよること  
二十三度半づりの處は線  
を引きこを極線と名く



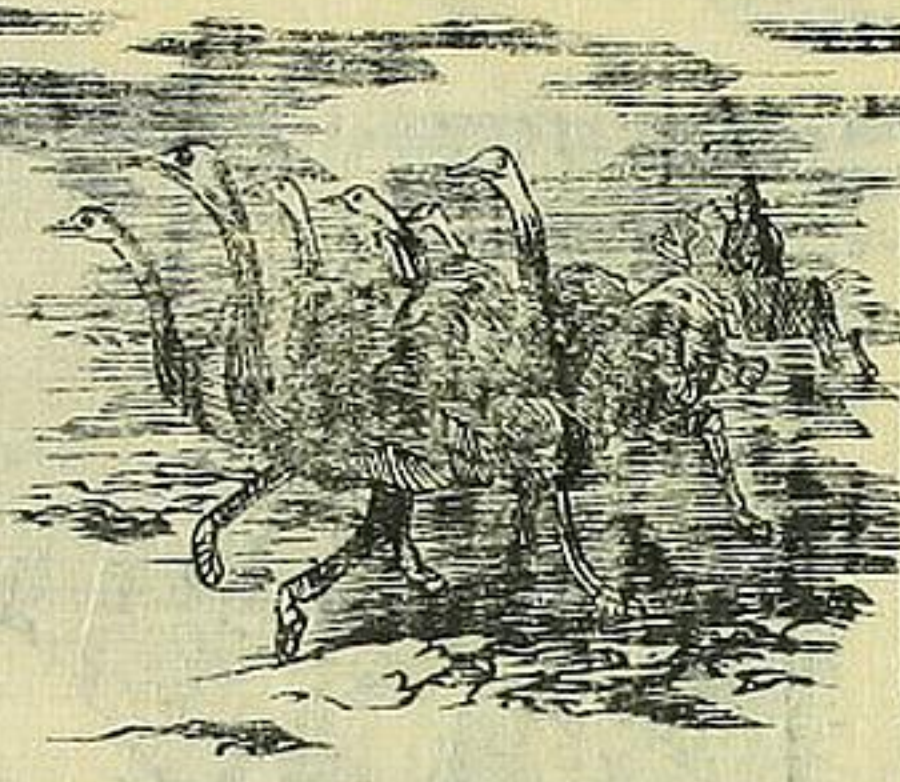
この間ハ時候寒き由へ寒帯と名く極線と二至  
 線との間ハ四十三度の廣さ有りこの間ハ時候  
 程よく春夏秋冬の順序正しき由へ中帯と名く  
 中帯の人を身体達者にして氣力有り文明開化  
 の極度不至るに由り唯此  
 方角ハある諸國の歐羅巴  
 北亞米利加之合衆國支那日  
 本等皆中帯の内ハ有り熱帯  
 の地ハ草木よく生長し獅



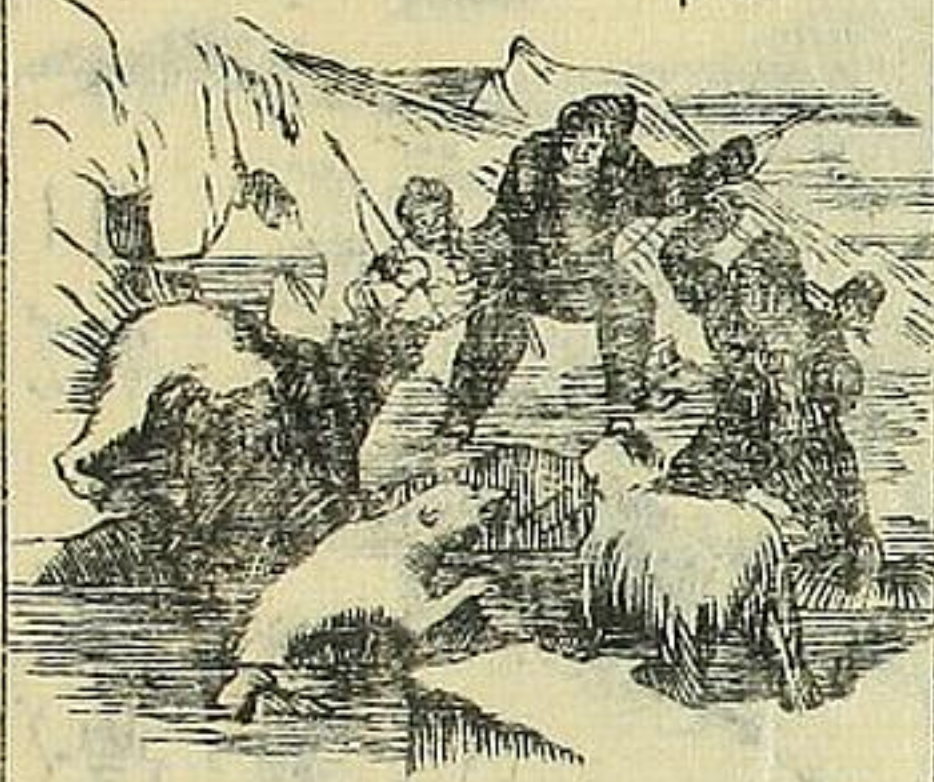
熱帯諸國の獸類

子犀象豹虎蝮蛇等多し又或  
 ハ駝鳥おどいへる大ハカ  
 鳥の中間寒帯ハ絶てお  
 き色のあり寒帯の地ハ禽  
 獸草木少く人の身体小短小  
 して愚あり獸類ハ白熊馴鹿  
 等あり都て寒地ハ生むる獸  
 ハ皮厚くして毛深し天然ハ  
 寒氣を防ぐたれあり

駝鳥

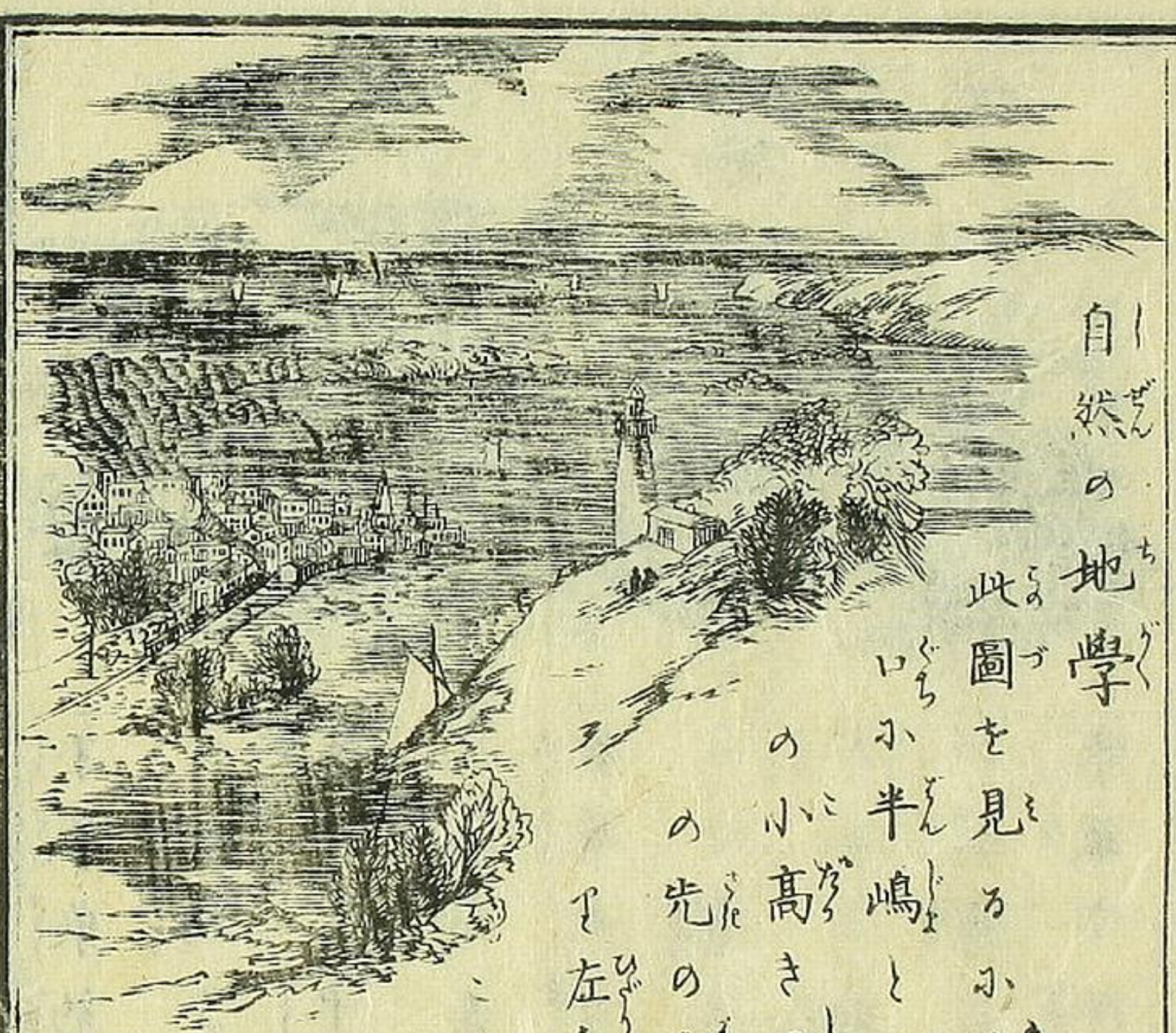


寒帯の獸類





自然の地學



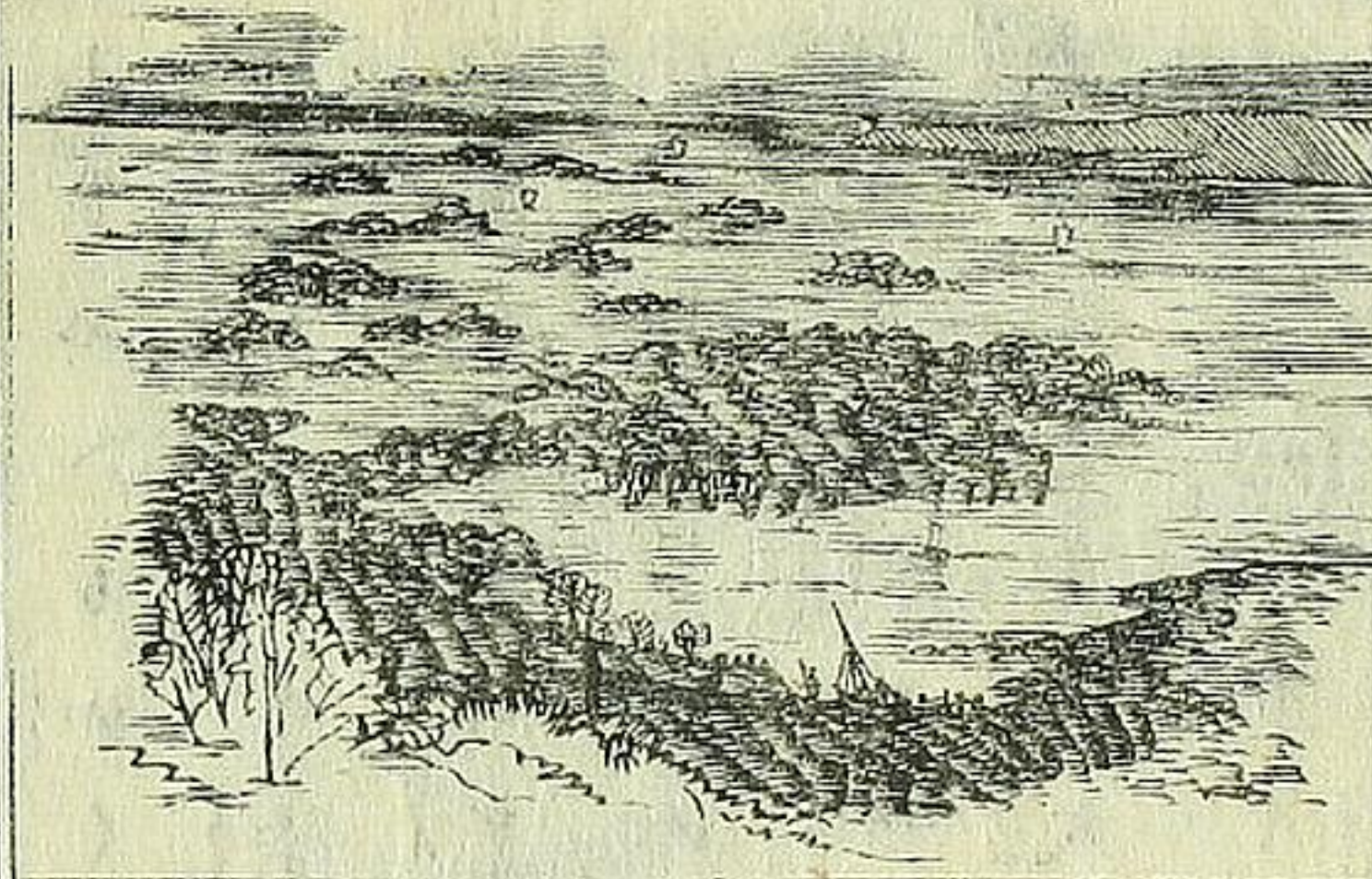
此圖を見るに遠景ハ大洋ホ一河  
 小半島と二三の小島有り右手  
 の高き處ハ燈明臺有り  
 の先の方へ突出たるハ岬ホ  
 左手ハ市中繁昌して  
 こへ駐込む蒸氣車  
 りこの模様を見てお  
 らま地理の區別  
 を知る地學の大趣  
 意を合点を得

本篇小ハ一ハ如く地球の面三分ハ海ホ一  
 一分ハ陸ありこの陸地を三分ハ亞細亞阿非  
 利加歐羅巴を東の半球と一或ハ舊世界といふ  
 南北亞米利加を西の半球と一或ハ新世界とい  
 ふ大洋洲も亦別ハ一世界ホ合せて三世界  
 あり或ハこれを三大地と名く西洋の語ホこん  
 ちねんとといふ廣く續き一土地といふ義あり  
 嶋とハ四方ハ海ヨリ土地あり譬ハ英吉利麻  
 田槽輕久場等の如き皆嶋國あり



半嶋とハ三方水ホいて一方の大地小續きたるをいふ日本ホていへバ肥前の嶋原の如きこ

嶋半の地



地嶋とハ大洲と大洲と續く處々又ハ半嶋と大洲と續く處々攸き上地をいふ譬ハバ亞細亞洲と阿非利加洲と續く處々未洲の地嶋あり南北亞米利加之界

小巴奈馬の地嶋あり

岬々ハ海小突々たる陸地をいふ阿非利加之南の端小喜望峯あり南亞米利加之端も亦いふ

わふるんあり

土地の高きものを山といふ但し地學ホ於てハ

高さ千尺以上あるものを山と唱へ千尺以下の

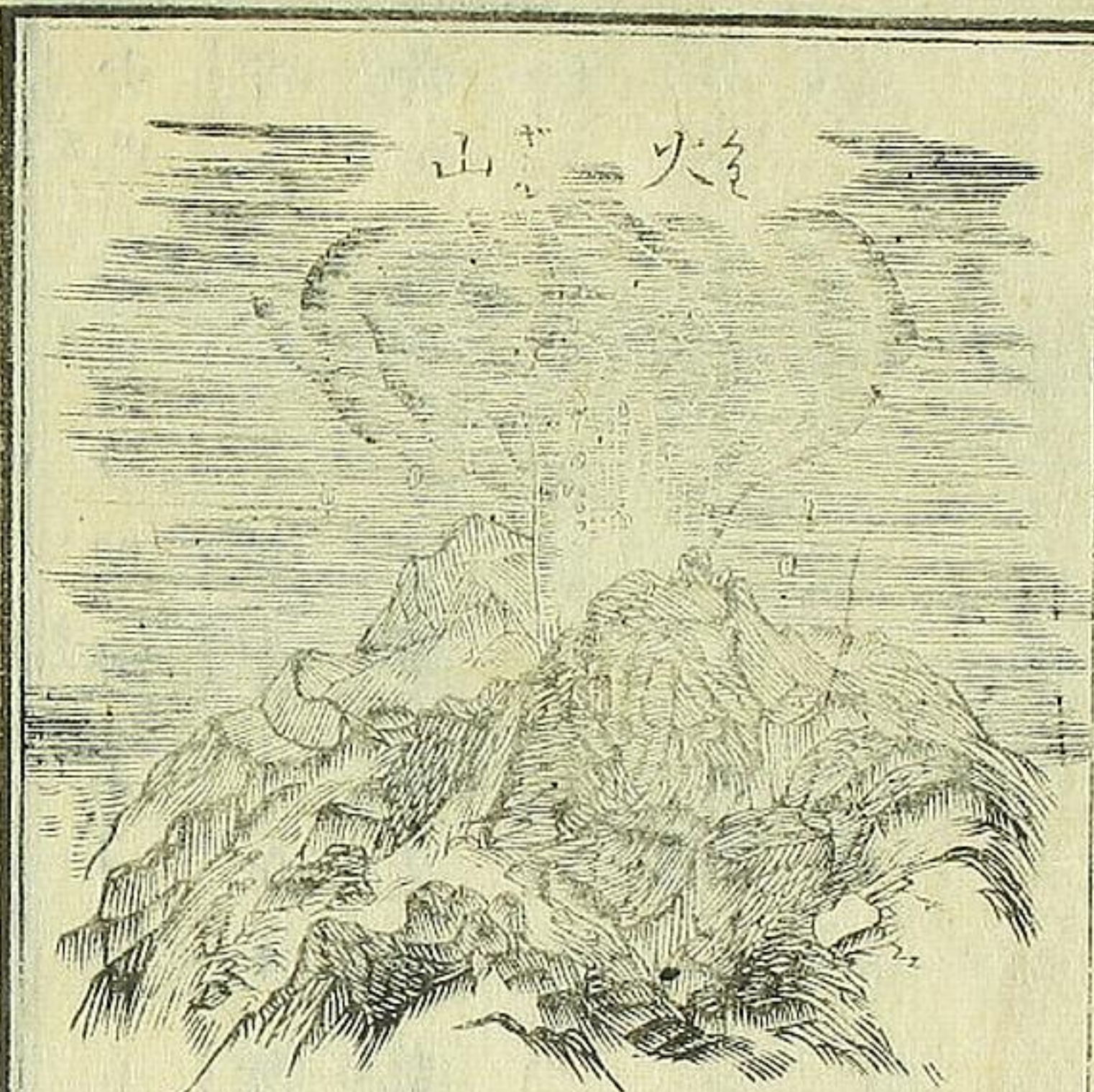
ものを岡といふ山の高さを幾尺と計るハ海面

より勘定したるものあり世界中の高山ハ印度

のひめきや山を第一とす其高さ三萬尺不近



即ち英吉利の里法にて五里余の高さありさを  
どもこをを世界の大地ひささ較をバ見る不足ら



地球の中徑千六百  
分の一あり譬へバさ  
一丈六尺の玉  
五分をかその贅あ  
るが如く地球の大ひ  
あること思ひ知るべ

山よ火を噴き烟を出るものを火山といふ世  
界中其數三百ありこの内の二百ハ嶋國の山  
なり

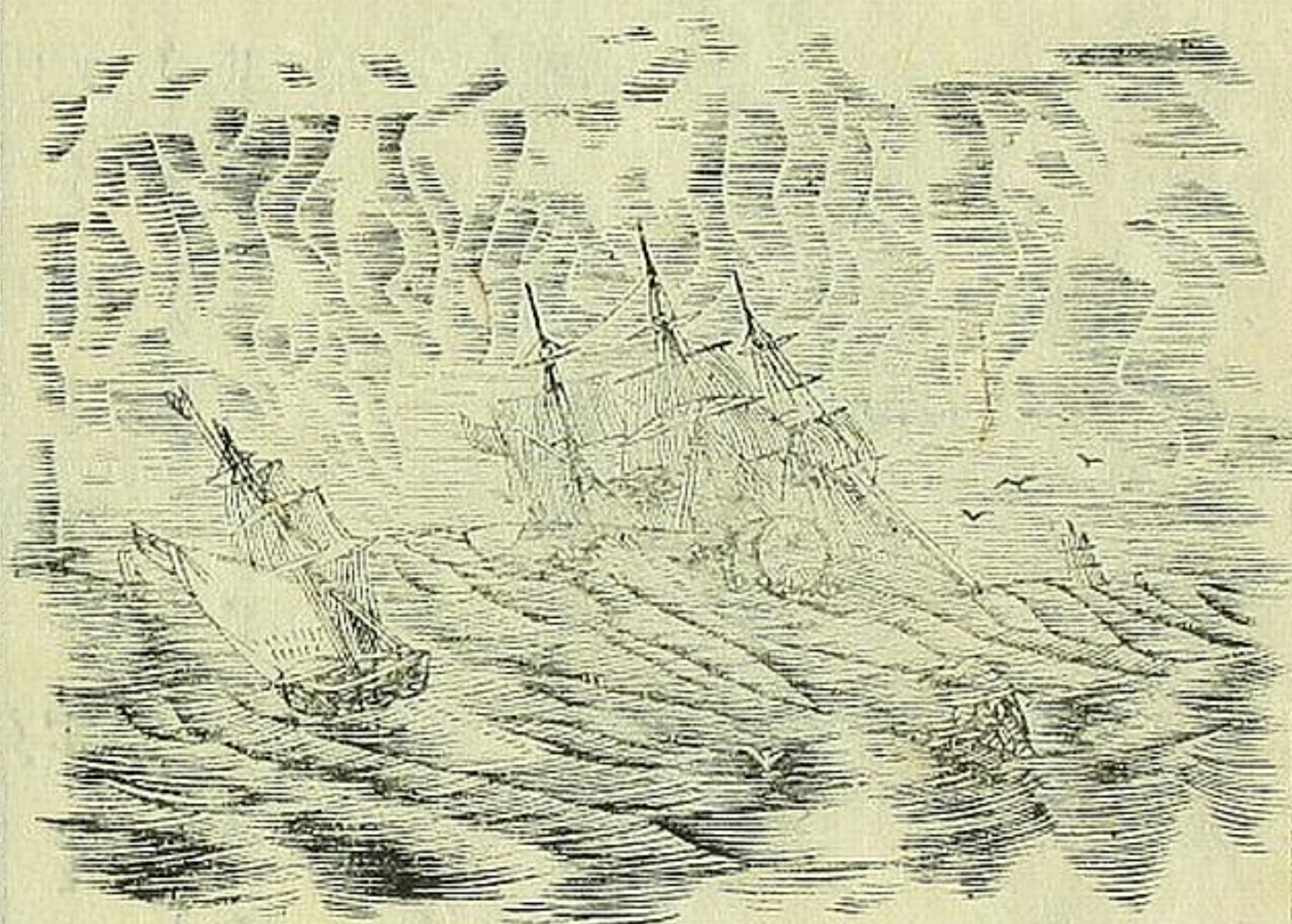
廣き砂原ハ雨降らざりて草木生長せざるもの  
を砂漠といふ阿非利加荒火野の砂漠こもあり

日本ハ砂漠あり  
大洋と外海のことあり實ハ世界中の海ハ其  
水の互に通ぜざる處ありゆへに水を一大洋と  
いふも差支なき筈なれども地理の模様小由



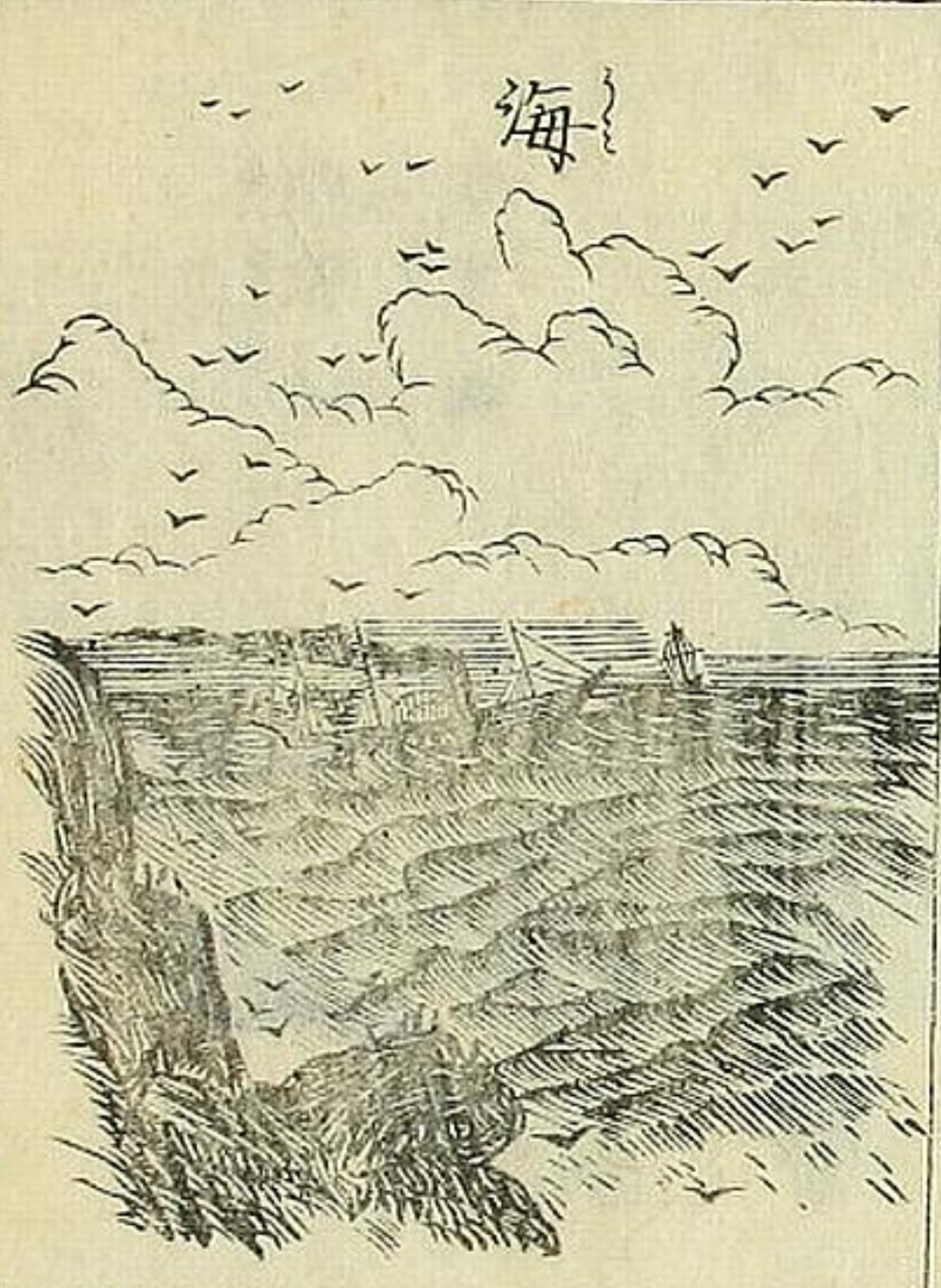
分て五大洋とあせり即ち太平洋阿多羅洋印度

大洋



洋北極洋南極洋二  
見あり本編に用ひたる  
ハ唯て海と記したる  
字を用ひ  
大洋の深さを詮索  
せしかまどもいま  
大確あるを知らざ  
その底不凸凹ある

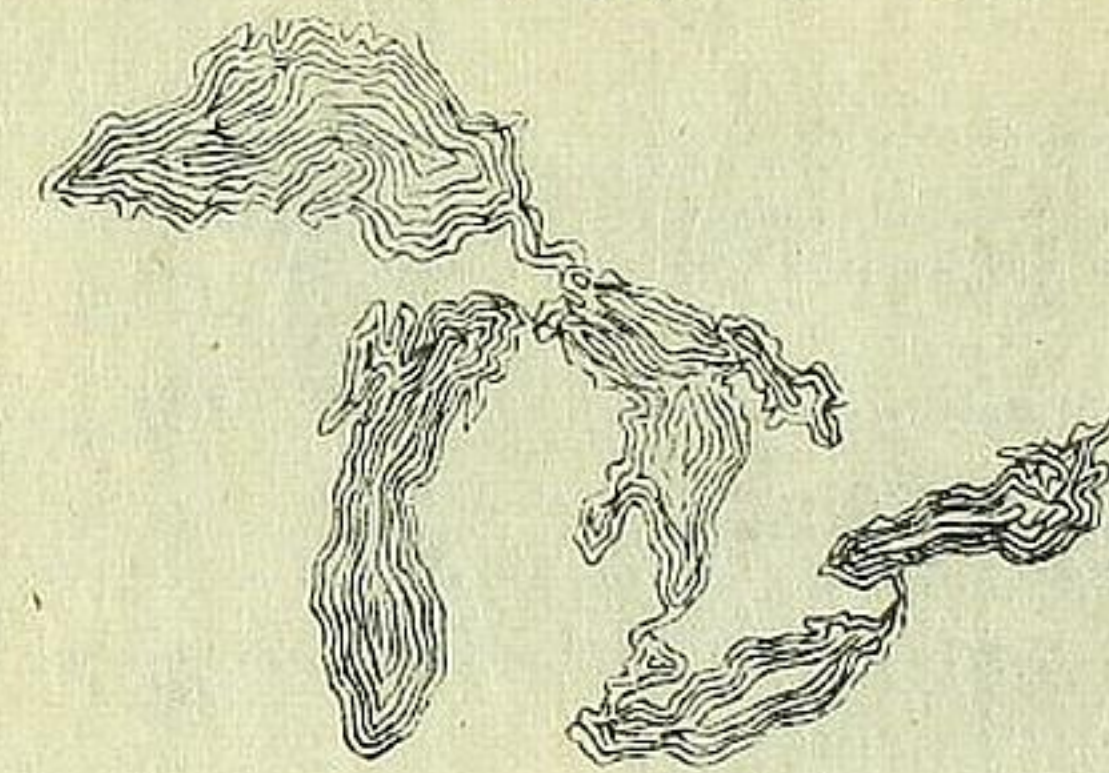
ハ陸小山阪の如くその最も深き處も陸の  
山の最も高きもの不等しかるべしといふ  
海とハ大洋より狭くして其周囲小陸地の近き  
ものをいふ地中海黒海の如きこきあり



湖水ハ淡水の集るた  
るものなりその源を  
河よて流こる或ハ湖  
の底より湧出するもの  
も有り其出口ハ又河



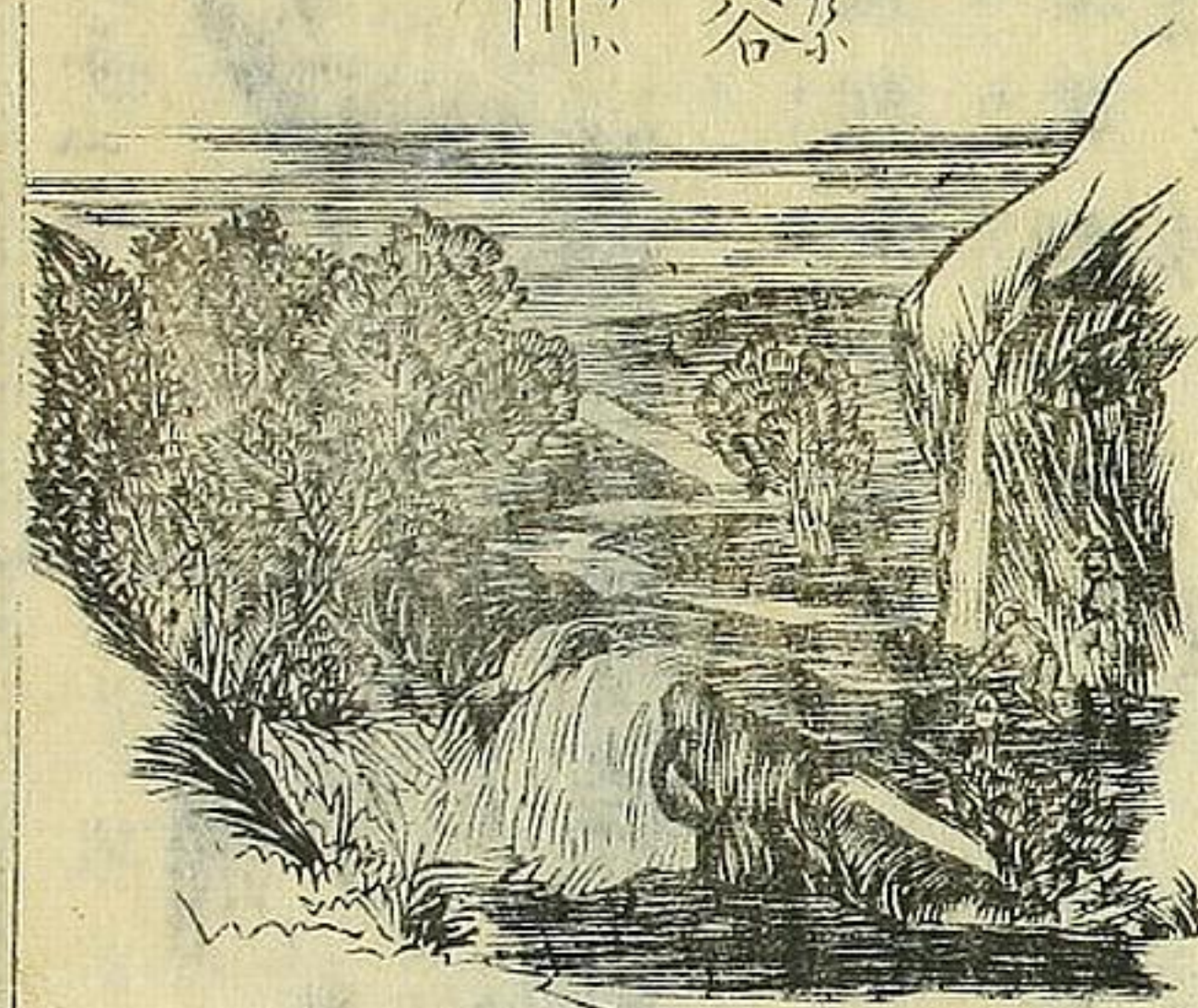
北亞米利加の合衆國と金田との界ハワル湖水



船の碇泊を爲し處を港といふ  
一に灣又ハ辨輕の入海等これあり其狭くして

小やて海不入る世界  
第一の湖水ハ北亞米  
利加洲ハあり  
入海とハ三方ハ陸あり  
て一方のと外海ハ  
續くものをいふ或る  
こを灣といふ或る

川谷

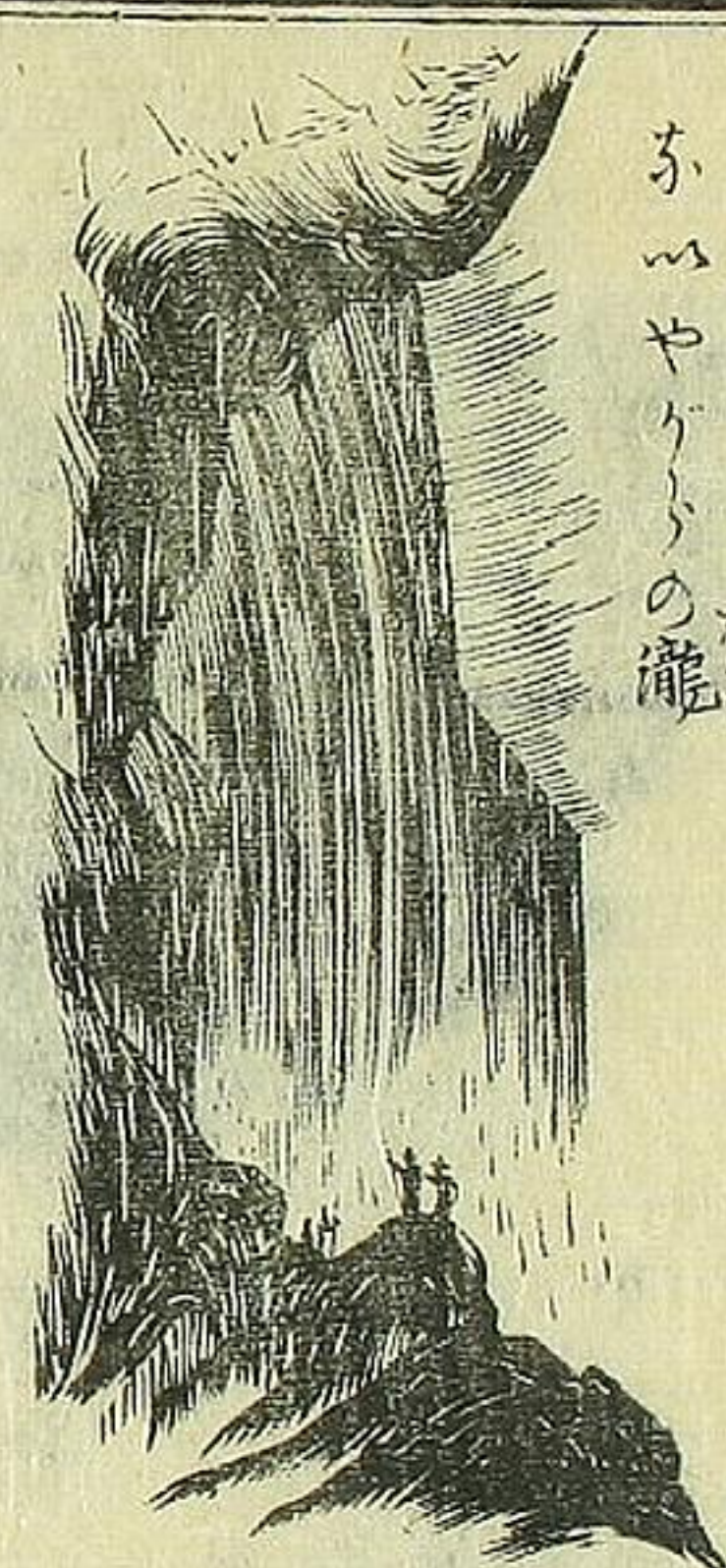


瀬戸とハ海と海と續く狭き處をいふおぶらる  
たるの瀬戸ハ阿多羅海と地中海と續く處ハあり  
下の関の瀬戸を周防洋と云界洋との界目ハあり

陸地の低き處ハ流る水  
を河といふ河の源ハ或ハ  
泉よそ或ハ湖水より出  
づ雨雪の氷山の中ハ溜り  
その穴より流出て谷川



ふみやがりの龍



とあり次第に集りて河とあり又合して大河となり遂に海に入るあり南亞米利加の「ボボドン」ハ世界第一の大河にして北亞米利加の「ミシシッピ」ハ世界第一の長河あり河の流るゝ路は俄に低き處へ落るゆゑを龍といふ合衆國の「オウヤ」ハ洲ハ「オウヤ」がらといふ龍のり高さ百六十尺世界中の名所あり

人間の地學

天然の地理ハ萬代不易にして開闢の始も今日も大いに異なることありさきども地球の面小生きたる人の了簡を以て其地面を分ち其界を定て各政府を立せバ人民共小その為筋を思はざるものあり是即ち人間の地理ハ區別を生じ世界中の國々の分るゝ所以なりこの區別ハ固より人の作りしものあり是は萬代不易あるを得を争ふ由て師を起すをのり野心を抱て國を



盗むものりり威力を以て土地を押領するもの  
 あり是即ち諸國不盛衰興敗の變あり所以あり  
 斯く人の意を以て勝手次第不定たる國の界  
 ハ必すしも海陸山川の地理を目的とせむ或ハ  
 唯双方の人の約束したる條約の書面不由ての  
 其界を守ることあり然るども事實の便利  
 を謀り暴人の襲を防ぐためハ大洋又ハ山川  
 の筋ヲ搦て界を立るを良とす  
 本編の始ハも以へる如く世界中の人種を五小

分ちその容貌知愚同トからざるハ其の國々の  
 風俗生産の道も亦一様からず  
 ⑤ 文明開化とハ都會を開き市町を立て住居の  
 處を定め安樂の家ヲ居る事々物々ハ順序を違  
 へて心を勞し身を役し禮を重んじ義を貴ぶも  
 のを以ふ  
 ③ 蠻野とハ住居を定め水草を逐て處を移し  
 或ハ牛羊を飼ひ或ハ鳥獸を捕て渡世するもの  
 を以ふ



右二様のものを尚又細小區別するは左の如し  
 第一を渾沌といふ蠻野の内ふても最も下等あり  
 民ふて鳥獸の仲間を外るゝこと甚とぞ遠からず  
 或阿非利加の内地新ぎんふあふまたとてヤハ  
 どの土人こそありてていもふく廣き野原小徘徊  
 徊して獵澳を業と一或ハ虫を喰ひ或は野山小  
 生トたる木の實草の根を食物とて其人の性質  
 慈悲の心なくして互小相争ひ物事小迷ひ易く

して人の道を知らざる甚とぞいさハ人の肉を喰  
 ふものあり其住居ハ常小家か一或ハ粗末なる  
 小屋掛を作て一村の趣を成すことものほとどり  
 便利次第ふて忽ち散トその痕跡も見ず農業を  
 勤めざまば五穀を喰む衣履も甚とだ見苦し  
 くして大抵裸体の者多し其知識ハ固よと狭く  
 文字を知らず法律を知らず禮義の道なく地面  
 の區別か一斯る愚民の内小も矢張頭分りあり  
 ありて大勢を支配しその取扱ひ甚とだ暴虐無



道あり  
 第二を蠻野といふ。潭沘の民より一段上席あり。支那の北方、鞏、靉、荒、大野、又ハ北、阿、非、利、加、の土民等、こゝに於て此種類の民ハ住居の家なく、天幕を張て、雨露を交ぎ、或ハ家を作るとても甚とぞ。粗末なり。水草の便利のため、ハ其天幕又ハ家作を携へて、處を移すことあり。その食物ハ牛羊の肉を喰ひ、其乳汁を飲み、稍農業の道を心得て、五穀を喰ふ者あり。蠻野の國ハ文字ありと

も、こゝを讀み、書き、甚と稀あり。藝術も至るてハ最も拙く、て道具、仕裁の工夫を知らず。此人民を支配するものハ、たゞ其親分として、家筋の人あり。下々の者ハ、この人を親分として、君父として、恭ひ尊び、その法甚と不人情あり。て暴

第三を未開又ハ半開といふ。其真の文明開化ハ、至らざりて、あつたを開け、かく置たりもの。かきども、蠻野ハ、較せば、遙ハ上等あり。農業の道



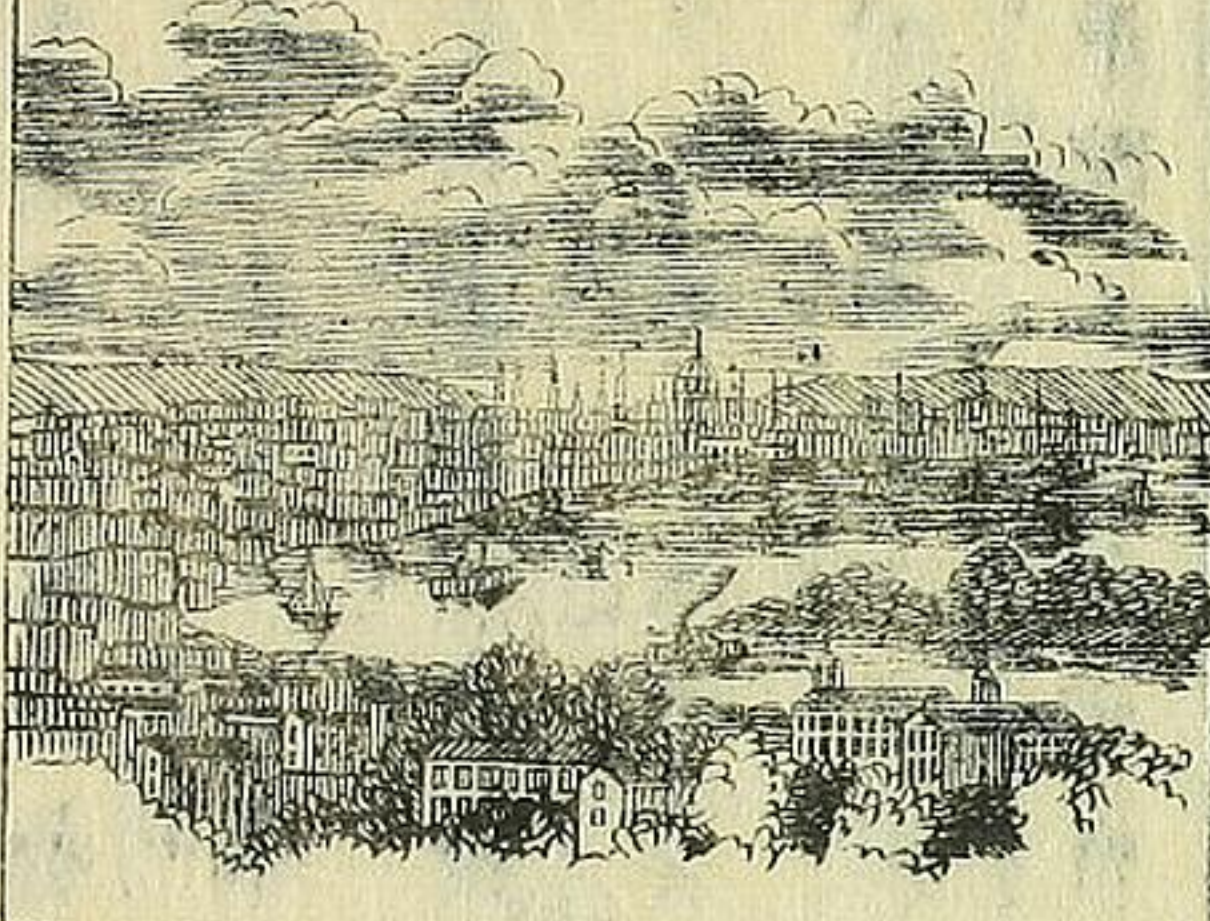
よく行届て食物多く藝術も進で次第不巧不趣  
 都會を開き家居を飾り文字學問の道も隨分  
 盛なり但一嫉妬の心深くして他國の人を忌  
 嫌ひ婦女子を輕蔑し弱きを苦しむる風あり  
 支那土留古邊留社等の諸國ハ亦々を開けたる  
 もゆとゆふ  
 第四を文明開化といふ禮義を重んじ正理を貴  
 び人情穩ふして風俗やさしく諸職の術ハ日  
 新しして學問の道ハ月不進之農業を勤め工作

を勵む百般の技藝盡さざるものあり國民業を  
 安んじて天の幸を受け末頼母しく自から満足  
 せり亞米利加合衆國英吉利佛蘭西日耳曼和蘭  
 瑞西等の諸國ハ文明開化の域不至るものあり  
 ゆふ  
 世界中不帝國あり王國あり公國あり侯國あり  
 或ハ共和政治の國あり帝國とハ帝の支配する  
 國あり魯西亞埃地利佛蘭西の如きと色々あり王  
 國とハ王の支配する國あり英吉利普魯士西班牙



牙和蘭の如きこきあり公侯の國もこき不同ト  
 共和政治の國とハ主君亦く國中の人の申合せ  
 不て治むる國あり南北亞米利加洲の諸國瑞西  
 理邊利屋の如きこきあり  
 國中の支配取締の便を謀り其地面を州に分ち  
 郡に分ち縣に分てりその名目ハ國々不て同ト  
 からさきども事實不於て相異なることあり  
 人民の多く集りて家を建て市町を開き一處を  
 都會といふ亞米利加合衆國不て大都會と唱ふ

合衆國の  
 都會あり  
 せるとい  
 ん其の景



る處ハ「不」より「ふ」  
 見ざるひヤ「不」ふとん  
 なるちもふる「に」を  
 さいんを等ふる都會の  
 場所を撰ぶハ商賣の  
 便利を謀り産物運送等

の模様不由てこきを定るものあり  
 首府或ハ唯都とハ一國の政府の在る場所を以  
 ふ「わ」んとんハ合衆國の首府あり「ろ」んとんハ



英吉利の首府あり  
 政府の体裁とハ其國を治むる法の立方を以て  
 その種類三あり  
 第一を以てあるまじし以て立君の義あり立君とハ  
 一人の君を立て其國を支配することあり譬  
 ハ英吉利佛蘭西魯西亞其外の國々ハ皆立君  
 の國あり立君の政体を又二種に分ち一を定律  
 立君と以て國君一人以て政事を自由かせ國  
 内の議事院にて評定所を開き國中一同の入札

おて人物を選び毎年この評定所小集てて法律  
 を定め掟を設け一人の君として國の掟を破  
 得ざるよりおしたるものあり譬へは其國の君  
 不行状おて奢を極め或ハ妄お師を起して國中  
 へ用金おどひひ付んとまると議事院の評議お  
 て決して許さず都て君の威權ハ甚だ弱く國を  
 先おして君を後おさるもの趣意あり英吉利和蘭  
 西班牙等の如きこも亦又一種のがあるまじしを  
 獨裁立君と以て國小君を立てその君一人の勝手



次第だいにして政事せいじを捌はかき國民こくみんの生命いのちも君きみのりか  
とといひ上あたる人の意い不ま背かけバ罪つみなき者ものをも  
殺ころすことあり國民こくみんの家藏けさう身代みしろも君きみのりかあり  
といひ上あたる人の見み込こ次第だいにして妄あや小こ年ねん貢こう運うん上じやう  
を取と立たて或あるハ罪つみ不ま陥おち入いるもて欠か所ところ不ま在あること  
何事なにごとも一人ひとりの了しやう簡かん小こて天下てんかを私しするものか  
魯ろ西せい亞あ土と留りゅう古こ支し那な等らうの如ごとく其その君きみ若ごとく賢けん明めいか  
る人物にんぶつ不ましよく心こころを用もちきバ國くに治ちらざるべからず  
さもども萬まん一いつ無む學がく文ぶん盲もう小こて自みづか終しやう不ま増ぞう長ちやうあると

きハ民たみの難がた涉せつ一方いつぱうから去さこを暴はう君きみといふ  
第二だいにの政せい体たいを貴き族ぞく合がっ議ぎといふ家け柄へいの貴きき人ひと々  
寄よ集じふして政せい事じを取と扱とふものあり  
第三だいにを共き和わ政せい治ち或あるハ合がっ衆しゆ政せい治ちといふ國くに中ちゆうの人ひと  
民たみ申まを合がっ小こて政せい事じを捌はかくものあり共和きやうわ政せい治ちの趣しゆ  
意いハこの世よ不ま生せいきたる人ひとを同どう等とう同どう格かくのものといふ  
定さだめ其その論ろん不ま云いふ凡たゞそ人ひとたるものハ各各自精せい心しんあり  
身み体たいあり貴たかき人ひととして此こ精せい心しんを二ふた通と具ぐふるもの  
何なにら手て足あしを八はち本ほん持もち小こも何なにふ去さこを天てん然ぜん不ま



貴賤のちるをばよふあゝ況して歴代の家柄の  
 を口實にしてたまく其人の才徳は格別  
 あきども若し然らざりて唯其位の人の上  
 立ち心ハ賤くして我侪を遅ふまるとは下々  
 の者ハたゞ一人ハ勝もたる才徳はも暴人の  
 下ハ恐入る百姓町人の汗を流して家業を管  
 一錢づつ貯へたる金をもかゝりて驚かさ  
 らる如くいつの間ハ取上らる上の人我  
 終放盪元入る姿をば大ハ天理不戻

事畢竟世の中ハ政府を立るも國中ハ不正なる  
 事ハ行ハざるよふ人々の生命の危くらざる  
 よふ其身代を失ふにや他國の侮を受けざ  
 るよふ其取締をなし其守護を設るためハ後人  
 をもこゝらへ武備をも整へ農工商よりその入  
 用を拂ふに如くハ譬へハ下々の者ハ金を拂ふ  
 て物を買ふが如く直段ハ成丈け安くして品柄  
 ハ成丈け上物を選べき筈也然るハ其代金を  
 かり渡して品物をばまると請取らぬのこゝ却

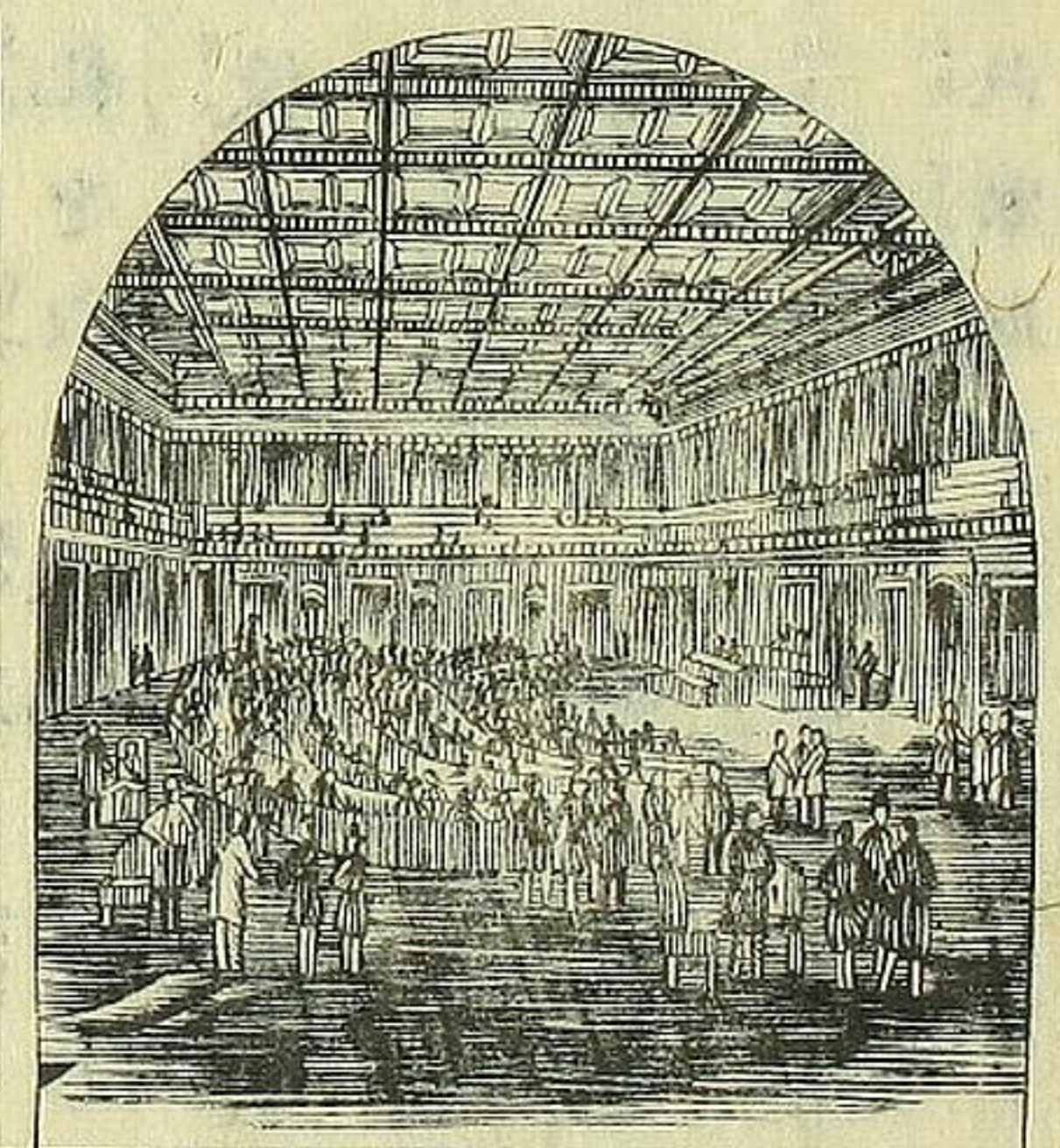


て其金をたゞ奪ひ一者のため小痛らるゝかど  
のこゝろを以てハ以ての外あり害何ぞ益なれ  
こゝろあり故小貴賤上下歴代家柄あどの話ハ打  
止め人々其天然の心を勞し其天然の身を働り  
他人の妨をふさぎて共々小其身を守り其  
父母妻子を養ひ其家を治め其國を建て趣意か  
き命令を下すものをあゝ趣意あき貢税を取立  
るものもあゝ天下太平國家安全を致すを  
右の議論小擧せバ政府も亦くつて済むべきよふ

かまども人の心の同トからざるハ其面体の各  
異あるが如し且天下の人萬人ハ万人皆善人小  
も所らざるハ争論あきこと能く故小國中の  
人申合せ八札を以て人物を選び政事の頭取を  
立て評議の役人を以て付け在役の年限中ハ相  
當の給金を取らして政を為さしめ専ら國中一  
同の便利を謀り外國へ對して侮を受けず國威  
を海外小すを耀々を趣意とせし亞米利加合  
衆國ハ此頭取を以てんとす以て在役



亞米利加合衆國議事院の圖



上席の者ハ六年交代下席の者ハ二年交代あり  
 四年交代一年の給金二萬五千  
 評議の役人ハ上席と下席と兩様あり

慶應義塾蔵版目錄

|                          |    |                         |    |
|--------------------------|----|-------------------------|----|
| 西洋事情 <small>初編再版</small> | 三冊 | 英文熟語集                   | 一冊 |
| 同編                       | 四冊 | 雷鏡操法                    | 一冊 |
| 同外編                      | 三冊 | 同                       | 一冊 |
| 西洋旅案内                    | 二冊 | 同                       | 一冊 |
| 同外編                      | 一冊 | 洋兵明鑑                    | 五冊 |
| 條約十一國記                   | 一冊 | 室扶斯新論 <small>醫書</small> | 二冊 |
| 西洋衣食住                    | 一冊 | 窮理圖解 <small>再版</small>  | 三冊 |
| 華英通語                     | 一冊 | 天變地異                    | 一冊 |



010190533960

官許  
明治三年己巳八月

禁偽版

廣應義館  
藏版  
岡田厚  
賣弘

|                            |    |         |    |
|----------------------------|----|---------|----|
| 英議事院談                      | 二冊 | 各國洋錢數目表 | 一冊 |
| 萬國一覽袖珍                     | 一冊 | 生產道案内   | 二冊 |
| 英文典<br><small>活字再版</small> | 一冊 | 英文典直譯   | 二冊 |
| 博物新編補遺                     | 三冊 | 洋學校軌範   | 二冊 |
| 旗章說略                       | 一冊 | 新砲操練    | 一冊 |
| 清英交際始末                     | 二冊 | 地學事始    | 三冊 |
| 英軍艦刑法                      | 一冊 | 啓蒙手習文   | 二冊 |
| 頭書<br>世界國盡<br>再版           | 六冊 | 英氏經濟論   | 三冊 |



